

国内外から多様な人々が自然と集まる唯一無二の空間

前橋クリエイティブシティ

群馬県都市整備課・前橋市都市計画課



公共交通主体の
トランジットモールとは



November 2025



前橋クリエイティブシティ構想 イメージパース

Contents 記事内容

- P2 前橋の官民連携まちづくり、前橋クリエイティブシティ構想とは
- P3 トランジットモールとは
- P4～5 前橋クリエイティブシティ構想 イメージパース
- P6 これまでの取組
- P7～8 今後の予定

公式ホームページ等





MAE.CREATIVECITY



前橋の官民連携まちづくり

前橋市の中心市街地は、かつて商店街に多くの店が並び、地域内外からの来訪で賑わっていました。しかし、社会経済状況の変化に伴い、多くの人で賑わっていた通りでは人通りが減少し、空き店舗が目立つようになるなど、徐々に活気を失いました。



この状況を改善するため、前橋市は民間の視点から市の特徴を調査・分析し、「前橋市はどのようなまちを目指すのか」を示す前橋ビジョン「めぶく。」を平成28年度に策定しました。これに賛同する経営者らは、行政や市民と連携し、「めぶく。」の実現に向けた施策を進めるため「太陽の会」を発足しました。

さらに令和元年度には、中心市街地のまちづくりの羅針盤となる「前橋市アーバンデザイン」を策定しました。これは「文化芸術交流」「職住近接性」「経済活力」「デザイン力」などを高めることを基本方針とし、行政が主体となり、地域の人々とワークショップを重ねながら官民協働で策定したものです。



人通りの少なくなった商店街



前橋市アーバンデザイン

官民連携の事例
右上: 白井屋ホテル
右下: まえばしガレリア
左下: 馬場川通り



こうした取組により、日本では珍しい民間主導の動きが進みました。令和2年には創業300年の老舗旅館「白井屋ホテル」がリノベーションされ、令和5年にはアートギャラリー・レストラン・居住スペースが一体となった「まえばしガレリア」が建設されました。令和6年には全国初の成果連動型民間委託（SIB）※1により、小河川周辺を賑わい溢れる空間に再整備した「馬場川通り」が完成するなど、創造的なまちづくりが進み、中心市街地は徐々に活気を取り戻しています。

また、令和6年度には国道50号（本町通り）の路線価が32年ぶりに上昇するという副次的な効果も生まれています。

前橋クリエイティブシティ構想とは

前述の「前橋市アーバンデザイン」では、「まちの将来像」の一つとして、県庁前けやき並木通りを公共交通と人中心の空間へ再編するイメージパースが示されています。

県庁前けやき並木通りは、前橋城跡の伝統と歴史を背景に公官庁舎が集まり、県都の風格が漂う通りですが、その一方で人通りが少なく、閑散としています。また、GunMaaS※2や自動運転バスなど、交通環境の変化への対応も求められています。

こうした課題を受け、群馬県では「前橋市アーバンデザイン」のまちの将来像を継承し、この通りを公共交通と人中心のウォーカブルな空間へ再編し、平日だけでなく休日も人が往来し、多様な人々が集う場を創出する前橋クリエイティブシティ構想を推進しています。

令和6年度には、未来志向の都市空間デザインを世界から募



県庁前けやき並木通りのイメージパース
(前橋市アーバンデザイン: まちの将来像)

る国際コンペを実施しました。最優秀作品に選ばれた案をもとに、市民の皆さまの意見を取り入れながら、県都前橋の魅力と賑わいを高める道路空間の再編を進めていきます。

最優秀作品の概要はP4～5に記載しています。

国際コンペの実施概要

対象区間

群馬県庁・県民広場

本町二丁目五差路

駅前通り

前橋駅

目指す姿

公共交通と人中心の
ウォーカブルな道路空間へ
賑わいを創出し
群馬県独自の価値を創造する

- 提案内容

 - 県庁～前橋駅の道路空間デザイン
 - 県庁前 県民広場の空間デザイン

- 賞 金

最優秀受賞者	2,500万円	(1作品)
一次審査通過者	100万円	(4作品)

※1 成果連動型民間委託 (SIB) : 地方公共団体などが民間事業者等に業務を委託する際に、事業の成果目標を成果指標で設定し、その達成度合いに応じて委託料が支払われる契約方式
※2 GunMaaS: 群馬県内で利用できる公共交通機関やタクシー、デマンド交通等、様々な交通手段をシームレスに結びつけ、誰でも簡単に便利に利用できるスマートフォン向けWEBサービス

トランジットモールとは

トランジットモールとは、バスやタクシーなどの公共交通だけが通れる専用の空間です。道路空間をトランジットモール化することで、様々な効果が期待されます。

例えば、車の通行を制限することで歩行者が安心して移動でき、安全性と快適性が大きく向上します。また、バスやタクシーがスムーズに走れることで、公共交通の定時性と利便性が高まり、移動のストレスが軽減されます。さらに、歩行者が増えることで商業や観光が活性化し、まちなかの賑わいが生まれます。

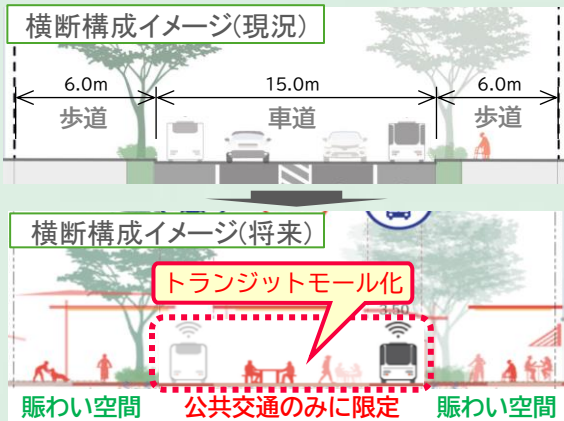
国内の例として、兵庫県姫路市の姫路駅前ではトランジットモール化後、歩行者交通量が約4割増加し、駅周辺の地価も約3割上昇するなどの効果が見られました。

今回の構想では、群馬県庁から五差路までの間をトランジットモール化し、五差路から前橋駅までの間には公共交通専用レーンを設ける予定です。

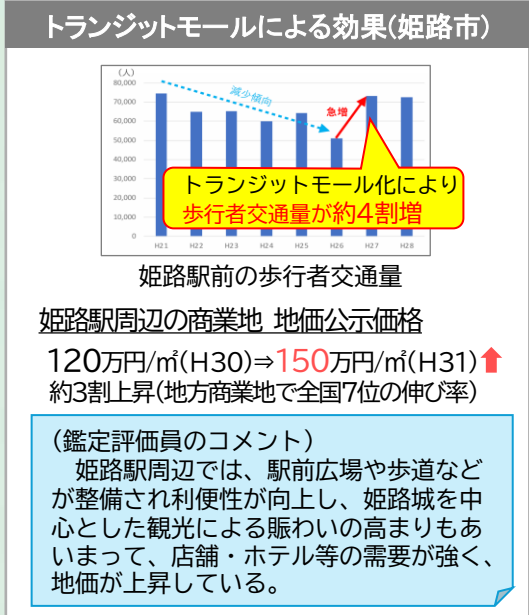
自動車依存が強い群馬県では、「車が通れないのは不便」と感じる方も多いと思います。しかし、自動運転が当たり前になり、高齢者の免許返納が進む未来の社会ではどうでしょうか？

車中心の道路空間は、人が歩きににくく、公共交通が使いづらく、滞在したくなる魅力が生まれにくいのではないのでしょうか。

これからの社会にふさわしい道路空間とは、車中心ではなく、人を中心に考えた、誰もが安心して歩ける・集える場所です。トランジットモール化は、その実現に向けた大きな一歩となります。



トランジットモール(姫路駅前)



トランジットモールにすると周辺道路が渋滞するのでは？

トランジットモール化によって一般車両の通行を制限することにより、「周辺道路の渋滞が悪化するのでは」と不安に思う方もいるかもしれません。

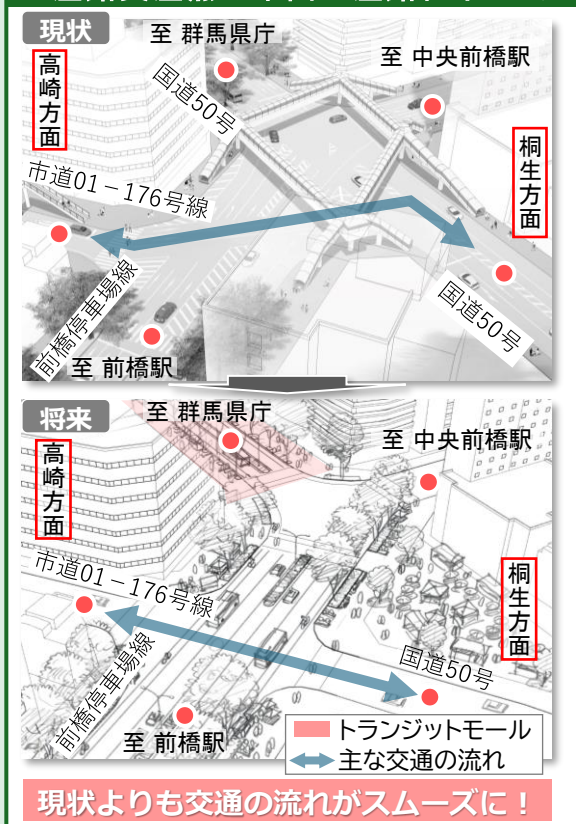
今回の計画では、交通混雑の原因となっている五差路交差点を平面四差路に改良し、交通の流れをスムーズにします。さらに、市道01-176号線を4車線化し、国道50号の交通を転換・分散させることで、全体の交通負荷を軽減します。

中心商店街などに向かう方は、ラストワンマイル※3の移動手段

として、パークアンドライド※4や公共交通・パーソナルモビリティへの移行を促し、快適で効率的な移動を実現します。また、桐生市～高崎市～渋川市間を移動する広域交通(通過交通)については、中心市街地を回避するルートを利用することで、交通量を抑制します。

これらの取組により、現状よりも渋滞を緩和しつつ、新たな賑わいと魅力に満ちた道路空間の創出を目指します。

五差路交差点の平面四差路化イメージ



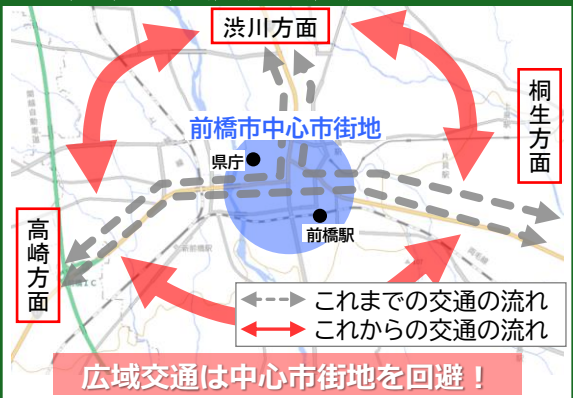
国道50号の交通転換イメージ



ラストワンマイル



広域交通(通過交通)のイメージ



(注) 上記はイメージであり、将来像を確定するものではありません。

※3 ラストワンマイル: 目的地までの最後の短距離移動手段
※4 パークアンドライド: 郊外などに車を停めて、そこから電車やバスなどの公共交通機関で都市部へ移動する仕組み



前橋クリエイティブシティ構想 『稜線がつなぐまちづくり_前橋リッジライン』

県庁前通り

市民生活のすぐ横に、水と緑がある
「公園のようなエリア」



県庁・県民広場

都市の中の「広大なグリーンエリア」と
「モビリティハブ」



モビリティハブとは？
バス停などをひとまとめにした便利な乗り換え拠点

国道50号

周辺商業施設の賑わいと一体となった
「まちづかいの場」



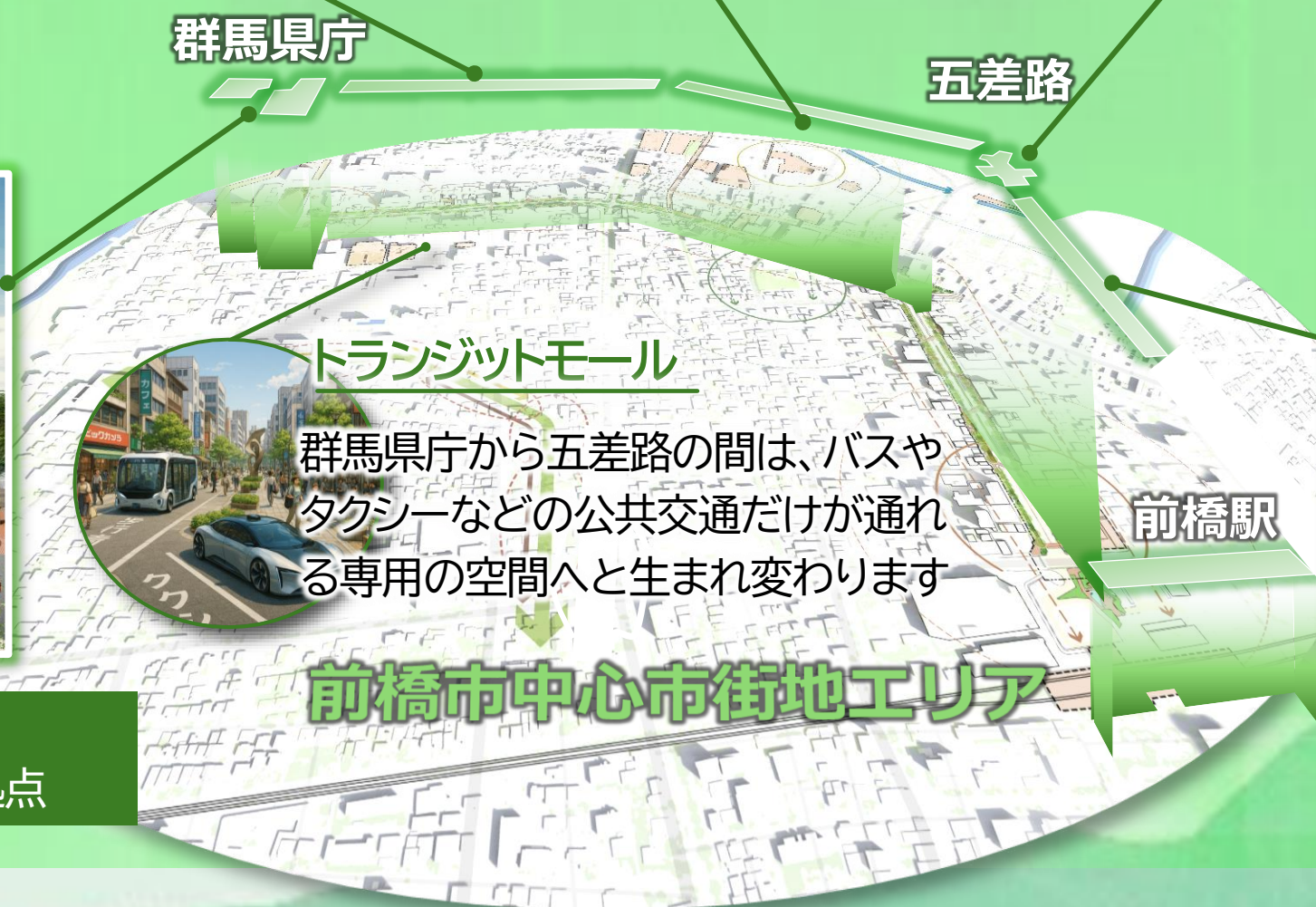
本町二丁目五差路交差点

壮大な空と山並みを望む
「遠くが見える気持ちのいい五差路」



前橋駅前通り

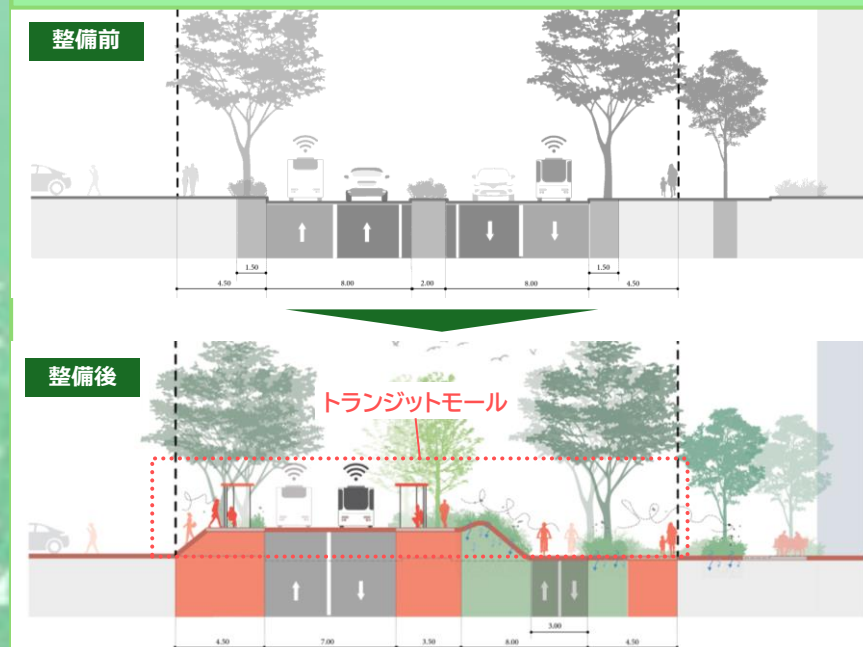
そこで過ごしたくなるような
日常の延長線上の場所



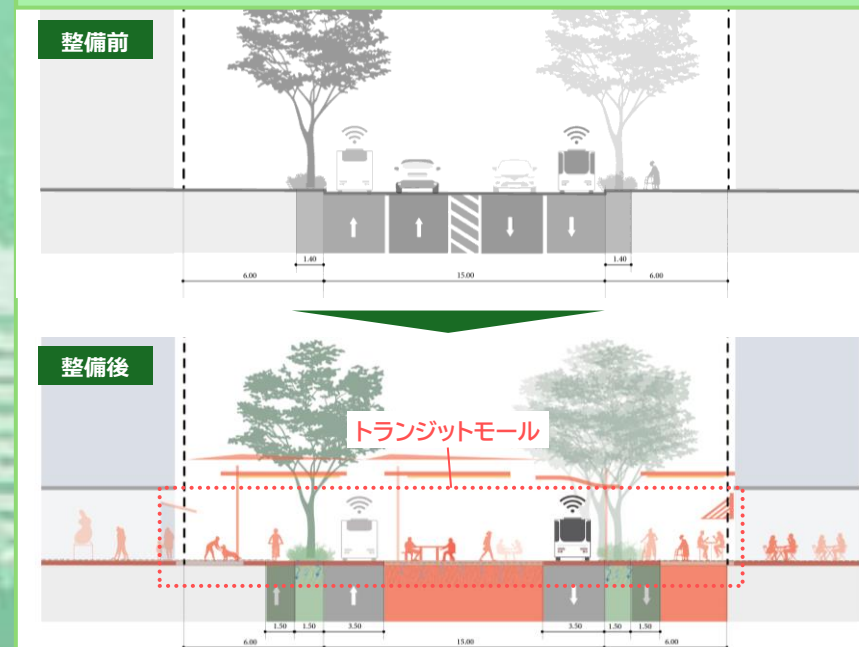
県庁前広場 平面図



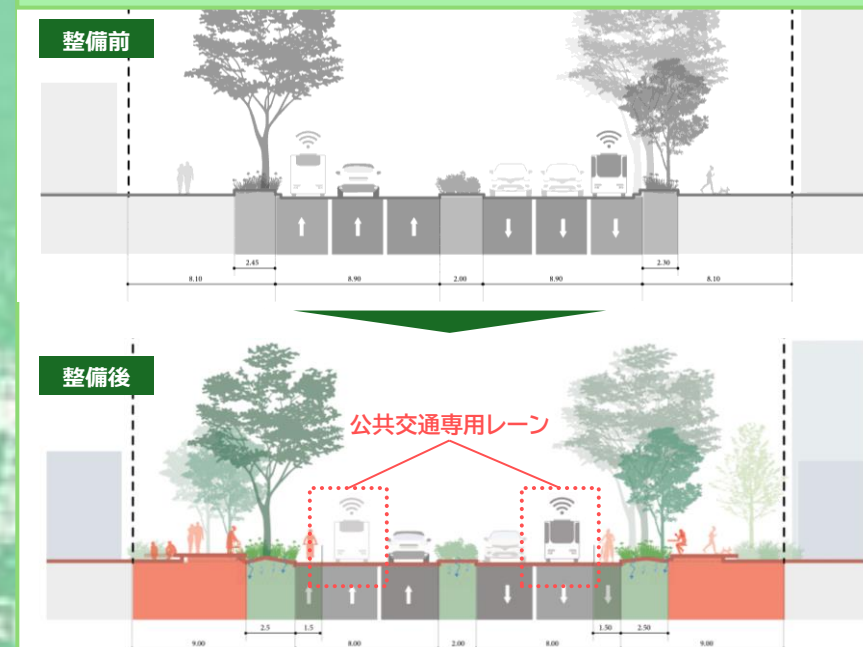
県庁前通り 横断図



国道50号 横断図



前橋駅前通り 横断図



これまでの取組

国際コンペ シンポジウム

日時：令和7年8月23日(土) 14時～16時
会場：前橋プラザ元気21 3階 ホール
参加者数：約300名

プログラム

1. 開会挨拶

群馬県知事 山本 一太



2. 最優秀作品プレゼンテーション

前橋クリエイティブシティ共同企業体代表
マウントフジアーキテクツスタジオ 原田麻魚



3. パネルディスカッション

テーマ
『ウォーカブルなまちづくり
によるエリア価値の向上』



パネリスト

コーディネーター

審査委員

審査委員長

地域関係者代表

地域関係者

最優秀提案者代表



石田 東生
(筑波大学名誉教授)



佐々木 葉
(早稲田大学教授)



田中 仁
((株)ジーンズHD
代表取締役CEO)



小川 あきら
(前橋市長)



鶴田 景子
(WRT(アメリカ))

参加者の声

- ◆ 構想が素敵でワクワクするものだった。
- ◆ 効率化だけを求めたものではなく、五感を刺激される構想になっていた。
- ◆ 沿道への波及効果やこの道路空間での過ごし方がまだ見えない。
- ◆ トランジットモール化による周辺道路への影響や周辺道路の渋滞解消方法案を早めに明示してほしい。

第1回ワークショップ まちづくりWEEK 2025 夏

まちづくり会議（オープンハウス等）

8月20日(水)～8月23日(土)
会場：まちなかサロン、元気21
参加者数：約180名



縁側トーク（意見交換スポット）

8月22日(金)～8月24日(日)
会場：県庁～前橋駅(計6箇所)
参加者数：約290名



リッジラインウォークショップ(まち歩き)

8月24日(日)
会場：県庁前～前橋駅
参加者数：約20名



オープンハウス



意見交換スポット



まち歩き



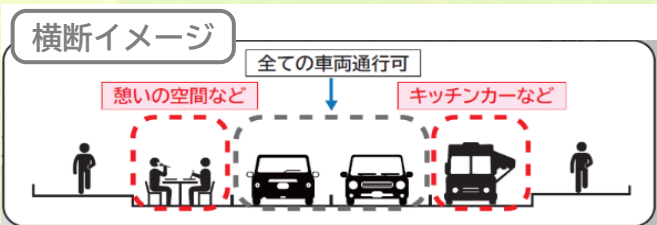
参加者の声

- ◆ 計画、デザインありきで進んでいるのではなく、ワークショップにより市民との対話を重ねて検討が進んでいることに安心した。
- ◆ 車社会の前橋で、この提案のおかげで歩く人が増えて車依存度が下がったら、世界的に見ても素晴らしい成果である。
- ◆ 閑散としているのでカフェなどが増え、歩道に賑わいがにじみ出してくるとよい。
- ◆ 平面交差で渡りやすくなるのはとてもよい。渋滞が緩和することを望む。

社会実験【第1弾】

9月17日(水)～9月19日(金)

規制内容：上下線の外側一車線を通行止め
空間活用：憩いの空間、キッチンカー等



参加者の声

【賑わいについて】

- ◆ パーソナルモビリティは、とても楽しく実用的で良い体験ができた。キッチンカーの料理も美味しくてよかった。
- ◆ 普段より活気が生まれ、良い道路空間の使い方である。
- ◆ キッチンカー以外に賑わいがいい。

【周知について】

- ◆ 事前に看板などで周知されているし、しっかりと交通規制されていたので安心して利用できた。
- ◆ もっと周知した方がよい。イベントを知らない人が多い。

【交通について】

- ◆ 交通への影響が許容できれば良い取組である。
- ◆ 前橋駅発のバスが10分遅れた。

今後の予定

前橋クリエイティブシティ構想 地元説明会

参加者募集

前橋クリエイティブシティ構想の取組内容を市民のみなさまに詳しくお伝えするため、説明会を開催します。

期 間：令和7年11月9日(日)～13日(木)

会 場：前橋プラザ元気21 5階 501・502学習室

対象者：前橋市内在住・在勤・在学者等

参加方法：事前の参加登録は不要です。直接会場へお越しください。

※ 会場に限りがあるため、先着順でのご案内となります。満席となった場合はご入場いただけないこともございますので、あらかじめご了承ください。

その他：公共交通機関のご利用にご協力ください。



主な説明内容

- ・前橋クリエイティブシティ構想の概要・目的
- ・都市空間デザイン（稜線がつなぐ まちづくり_前橋リッジライン）
- ・これまでの取組と今後の予定

開催スケジュール

日 程	11月9日(日)	11月10日(月)	11月11日(火)	11月13日(木)
会 場	501・502学習室	501・502学習室	501・502学習室	501・502学習室
定 員	100名	100名	100名	100名
時 間	① 10:00～11:00 ② 15:00～16:00	19:00～20:00	14:00～15:00	19:00～20:00

出張説明会（県・市職員による地域会合等への訪問説明会）

群馬県や前橋市の職員が地域の自治会や町内会の会合などに赴き、前橋クリエイティブシティ構想の取組内容をお伝えする「出張説明会」を実施します。自治会活動等の機会にぜひご活用ください。

対 象：前橋市内の自治会、町内会、各種団体等

内 容：前橋クリエイティブシティ構想の概要・目的、取組状況、今後の予定等

期 間：令和7年12月1日(月)～令和8年3月27日(金) ※ 申し込み期限：令和8年2月27日(金)

申込方法：団体名、会議名、会議開催場所、開催希望日時、連絡先等の必要事項について、申込フォームまたは申込書のメール・郵送により、開催希望日の1ヶ月前までにお申し込みください。

詳細は「出張説明会申込フォーム」または自治会あて通知をご確認ください。

【お問い合わせ先】

群馬県 県土整備部 都市整備課 都市プロジェクト推進室 事業推進係
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-3840 Mail:creative-city@pref.gunma.lg.jp

出張説明会
申込フォーム ⇒



社会実験 第2弾 11月19日(水)～11月21日(金)

参加者募集

県庁前のけやき並木通りにおいて、11月19日から21日までの3日間、社会実験を行います。期間中、午前10時から午後4時まで是一般車両は全線通行止め、それ以外の時間帯は、上下線の外側1車線が通

行止めとなります。ご理解、ご協力をお願いします。
また、通行止めにした道路空間は、憩いと賑わいのスペースを設けます。キッチンカーの出店などもありますので、ぜひご参加ください。



社会実験の目的

様々な調査やアンケートを実施し、今後の道路空間のあり方を検討する際の資料として活用します。

トランジットモール化に伴う交通への影響を調査・検証

道路空間の使い方、過ごし方についてアンケートを実施

賑わい創出の取組

- ◆ キッチンカーグルメが大集合！
麺類や丼ものからヘルシーメニュー、スイーツ、こだわりのお酒まで、バラエティ豊かなラインナップをご用意
- ◆ けやき並木をライトアップ！
夜のけやき並木が幻想的な光に包まれ、特別な空間を演出
- ◆ 気軽に本を手にとれるストリート図書館が登場！
会話のきっかけに、読書の楽しさを感じてみませんか？

※ 期間中、周辺道路では渋滞などが発生する可能性があります。迂回へのご協力と実験へのご理解をお願いします。



ストリートマルシェ



憩いの空間



パーソナルモビリティ

第2回ワークショップ まちづくりWEEK 2025 冬

参加者募集

この構想は、地域の皆さまと一緒に「見つけ」「つくり」「つなげ」「育てる」ことで、初めて実現できるものです。

そのため、地域の皆さまからご意見をいただいたり、ご説明に伺う機会を、今後も複数回設けます。

「第1回ワークショップ まちづくりWEEK 2025 夏」

でいただいたご意見をもとに計画を見直し、その内容について改めてご意見を伺う場として、「まちづくりWEEK 2025 冬」を開催します。

皆さまの声を今後の計画にしっかり反映させていくためにも、ぜひご参加ください。詳細は、後日、公式ホームページにてご案内いたします。

日程：令和7年12月8日(月)～14日(日)
会場：前橋プラザ元気21 1階 にぎわいホール等
実施内容：前回WSのまとめ、基本設計内容などについて
(関係者向け・一般向け・学生向けに分けて実施)
参加費等：無料、当日直接会場にお越しください。



まちづくりWEEK

今後のスケジュール

項目	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月
地元意見を反映した計画の具体化(基本設計)					
ワークショップ・社会実験など	11/19～21 社会実験	12/8～14 まちづくりWS			3月上～中旬 まちづくりWS
地元説明会など	10/31 本紙発行	11/9～13 地元説明会	【随時開催】出張説明会、自治会説明等		
					3/1 本紙発行

発行／群馬県都市整備課都市プロジェクト推進室・前橋市都市計画部都市計画課
群馬県：〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎027-226-3840
前橋市：〒371-8601 前橋市大手町2-12-1 ☎027-898-6944